

東京電力パワーグリッド株式会社発注のシールド工事により破損した下水管の復旧等について

東京電力パワーグリッド株式会社(以下「東電」という。)発注のシールド工事により流域下水道の下水管が破損した事故について、現場におけるこれまでの対応と下水管の復旧についてお知らせいたします。

1 事故の概要

(1) 事故現場

相模原市中央区上溝2560番地付近(県道相模原茅ヶ崎 相模川流域下水道左岸幹線)

(2) 経緯

令和7年8月29日(金曜日) 東電から「下水管を損傷させた恐れがある」ことが報告

9月2日(火曜日) 県は、管の内部にテレビカメラを入れて調査を行った結果、下水管の上部が約20mにわたり破損していることを確認

9月3日(水曜日) 知事が臨時会見で事故の状況を報告

- ・地下水が下水管に流入
- ・破損した部材などが下水管内に堆積した影響により水位が上昇

9月11日(木曜日) 道路管理者である相模原市と連携して、事故に関する関係者間の情報共有と連絡調整を図るため、「流域下水道管破損事故対策実務者連絡会」を設置(計5回開催)

9月29日(月曜日) 二次災害防止対策や下水管の復旧方法などを検討するため、「流域下水道管破損事故対策検討委員会」を設置(計3回開催)

2 現場におけるこれまでの対応

現地では、路面の変状調査やボーリング調査などにより、地盤の空洞の有無を確認するモニタリングを実施し、これまでに路面の沈下や空洞の発生などの異常は確認されていません。また、二次災害防止対策として、地下水の流入防止対策や下水管内の堆積物の除去作業を実施し、これらの作業が完了しました。

さらに、現在は、本復旧に向けて、下水管の破損箇所周辺の地盤を固めるため、薬液注入を実施しています。

(1) 路面変状等のモニタリング

- ・路面の変状調査 : 令和7年8月29日(金曜日) ~ (1回/2時間)
- ・空洞調査 : 9月3日(水曜日) ~ (1回/1週間)

- ・管内カメラ調査 : 9月6日(土曜日)～(1回/1週間)
- ・地盤の変状計測 : 10月29日(水曜日)～(常時(1回/分))

(2) 二次災害防止対策

- ・地下水の流入防止

令和7年10月5日(日曜日)から止水作業に着手し、令和8年1月22日(木曜日)に完了。

- ・下水管内の堆積物の除去

令和7年10月28日(火曜日)から下水管内に堆積している約50m³の土砂及び破損部材の除去作業に着手し、令和8年1月6日(火曜日)に完了。

(3) 薬液注入

令和8年1月27日(火曜日)から東電シールド管の中から、東電シールド管と下水管の接合部に薬液を注入する工事を実施中

3 下水管の復旧について

令和8年3月2日(月曜日)に開催した「第3回流域下水道管破損事故対策検討委員会」を経て、道路を掘削せずに下水管の内部から修復する工法で工事を進めることとしました。

- ①破損箇所周辺の地盤を固めるための薬液注入(現在作業中)
- ②東電シールド管が貫通している部分の一部を撤去し、下水管内部に部材を巻き立て、管を修復する更生工法(本来下水管が有していた機能である流下能力が、令和8年度末を目標に回復)
- ③下水管の破損部を復旧するため、鉄筋や鉄骨で下水管の部材を補強し、コンクリートを充填する断面修復を行い、その後、東電シールド管の内部に周辺の地盤と同等の材料で充填(すべての復旧工事は令和9年度末を目標に完了)

4 その他

「流域下水道管破損事故対策検討委員会」の開催状況や結果については、下水道課のホームページに掲載してお知らせします。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h2v/cnt/f215/taisakukentouiinkai.html>

問合せ先

神奈川県県土整備局河川下水道部下水道課

課長 飯塚 電話045-210-6440

流域下水道グループ 丸山 電話045-210-6453